

第4次図書館サービス計画へのパブリックコメント及び協議会等からいただいたご意見と回答

中央図書館

	箇所	意見内容	回答	対応
1	I 図書・資料・情報提供の充実 資料の紹介 取組内容 p.6	読みたい気持ちを引き出すような紹介やPRを。 「よむとす」を冊子にして発行するなどしたらどうか。	各業務や企画の中で有効なPRに努めていきます。	
2	I 図書・資料・情報提供の充実 利用PR p.6	もっと利用PRが必要 「広報いいだ」に定期的に図書館のPRを載せてもらったらどうか	機会を捉えたPRと、対象を明確にした有効なPRに 取り組みます。	
3	I 図書・資料・情報提供の充実 p4~6	夜間開館の日数を増やしたらどうか	夜間開館については、現在の中央図書館の木曜日 夜8時までの開館をご利用いただければと考えま す。 令和3年度に中央図書館の開館時間の繰り上げに 向けて取り組みます。	
4	II 子どもの読書活動推進 p.7	「本を読む子を育てる」という明確な文章がほしい。	その通りの言葉ではありませんが、内容として記載し ています。	
5	II 子どもの読書活動推進 p.8	学童期にも本のプレゼントがあれば、自分の本として手元に本があることはうれしいこと。	小学生の自発的な読書のためにも、幼児期の読書 体験の充実に向けて4歳児への絵本プレゼントに取 り組みます。	
6	II 子どもの読書活動推進 p.8	わが家の結タイムも関連するので記述に入れられないか。	【次の文章を追記します】 「わが家の結タイム」の取組により、家庭読書の意識 啓発を行います。	追記
7	IV 学びあい 取組内容 p.10	取組内容 「読書活動を支える担い手の支援・育成」の下の空白部分へ、次の事項を入れる。 「項目」Facebookの活用により読書の輪を広げる。 「主な取組み」■ 南信州図書館ネットワークシステムの「レビュー情報」に記載された「タイトル、著者名、 投稿者年代・性別、投稿日、レビュータイトル、レビュー本文の一部」を表示する。 (飯田下伊那の読書好きの人々の感激の言葉をぜひ知りたい。 図書館システムにある、本の感想を書き込める「レビュー情報」について、書き込まれたレビューが他の人 にも広く認知されやすくしてほしい。そうすることで読書人の輪が広がる。 方法として、すべてのレビューをfacebookに掲載することを提案。facebookでレビューが読めるようになっ たら、facebookの使い方の講習会を図書館で開催していただければ嬉しい)	ご意見の趣旨は図書館でも大切に考え取り組むべ きと考えています。 ・現在使用しているfacebookへ、図書館システムに 個人の方が記載されたレビューを図書館が転記す ることは難しいと考えますが、システム上で「新着レ ビュー一覧」のような形で閲覧することができる機能 追加を、現在使用しているシステムに要望していくと ともに、利用者の方同士が本を紹介し合う機会を作 ることに取り組みます。	
8	IV 学びあい 取組内容 p.10	中学生の司書体験など、取組は良いと思うが、本に興味があり参加したいと思う子ども以外の子ども、若者 にどう働きかけるか。	図書委員との交流などを通してニーズを把握しま す。	
9	IV 学びあい p10 (市民協働での学びの機会提供) (若い世代への学びの機会提供)	若者の文字離れ、特に新聞離れが進んでいる。新聞は時事ニュースを学ぶ、分掌を学ぶ貴重なツールで ある。また新聞記者は地域住民でもある。読書会交流会も良いが、読書は基本的に個人の興味・関心で行 うものなので、新聞のような媒介を扱うことで、より若者や市民と協働する取組みが生まれるのではないか。	「若い世代への学びの機会提供」に具体例として 「図書館資料の活用講座(新聞・辞典・データベース等)」を追記し、実施を目指します。	追記

10	V 郷土資料の保存・提供 (所蔵資料の紹介) P11	・他機関との連携は進んでいますが、美博、歴研、公民館などの講座を相談して手分けし、図書館でも関連して実施してください。	現在も行っている他機関の講座での資料紹介や出張貸出の実施で、参加者の学びが深まるよう取り組みます。	
11	V 郷土資料の保存・提供 (整理と保存) (所蔵資料の紹介) p.11	・この資料(貴重資料)を一部でも解説・解説してホームページなどで知ることができるようにしてほしい。	県立図書館や信州デジタルアーカイブ等と連携して、貴重な地域資料の紹介に向けて徐々に取り組みます。また現在翻訳・解説されている飯田市の資料について、わかりやすい紹介を目指します。 【次のように修正します】 ■県立図書館と連携して郷土資料アーカイブ化の検討を行います。 ■館内展示やホームページ等により、郷土資料や貴重資料をわかりやすく紹介します。	表現修正
12	第4章 図書館サービス計画の具体的な取組 p4~11	・利用者を増やす具体的な取組として、思いつくまま記します。すでに試み実施しているものあります。継続してください。 ○「図書館探検or探訪」(児童生徒・成人)最上階の倉庫など含む ① ○「職場体験」「職場実習」中高生の職場体験学習の受け入れ ② ○「図書委員会サミット」(小)中高生の図書委員会とプロの図書館司書の懇談会 ③ ○「本の修理修復講座」 ④ ○「地元研究者や研究団体が発刊した図書展示と紹介」コーナー ⑤ ○「はじめての絵本」6冊の紹介 ※ウェブサイトで情報を得ることができます。が、子どものいない大人や児童生徒学生、子育てが一段落した大人など、今時の赤ちゃんにどんな本を紹介しているのかと、関心のある人は、来館して読んだり、借り出したりするかもしれません。⑥ ○美博所蔵図書・歴史研究所所蔵図書で貸出もしくは閲覧可能な図書で、中央図書館や上郷・県立図書館に所蔵していない図書の紹介 ⑦ ・その他 長野県立図書館から直接の借り出した図書は、飯田教育事務所へ返却可ですが、飯田中央図書館を通しての返却システム可能かどうか。⑧ ・公文書館は、その機能を歴史研究所が代行するということですが、公文書館設置が困難であるとすれば、文書の保管は分散保管ということになります。地区公民館及び図書館分館という可能性はあるのでしょうか。⑨	・①、②、④、⑤、⑥は実施しています。継続して取り組みます。 ・③は、「若い世代への学びの機会提供」に具体例として追記し取り組みます(p10)。 ・⑦実施について検討します。 ・⑧可能です。利用者の方へご案内を行っていきます。 ・⑨公文書、地域の文書の保存と活用は大きな課題です。飯田市にとってどのように取り組むことが良いのか具体的な検討が必要と考えています。	一部追記
11	全体	重点がわかりにくい。	取組体系図を付し、重点を取り上げました。	追記